

機が記憶して書き込むものとなつているので、その記憶を消す機能も明記した上、セキュリティを万全にした仕様書を整えて入札見積りを取りたい。



藤本 住民課長

■配水管敷設工事実施設計委託料 367万円

■工事施工監理業務委託料 223万円

前記2件は、新庁舎建設に伴う上水道の配水管敷設工事関連費用

Q 森 治史議員

新庁舎周辺への水道設置の委託料だと思うが、その経路や距離は。また、高台なので、途中に加圧ポンプの設置は考えているか。

A 森田 まちづくり課長

これは、新庁舎等への配水

管で、現在、大方改良バイパスが完成していないので、仮設の配水管も一部必要になる。このため、町道七貫下坊線、旧の農村公園付近まで敷設管があるの、バイパス沿いに仮設配水管を敷設していく。そして、庁舎線へ入っていく町道新庁舎防災広場線の側道へ本管を敷設していく。

延長は、仮設を含めて約420m程度を予定している。

加圧ポンプ等は、庁舎付近の地盤高が約26mの計画高なので、現在の配水池からの水利計算等でもポンプなしでも配水できるとなっている。



森田 まちづくり課長

■地籍調査事務支援システム用パソコン購入費 42万円

Q 藤本 岩義議員

今回は何台の購入か。また、特殊なソフト入りのパソコンなのかと、どういう作業を支援するものなのか。

A 武政 総務課長

現在、1台で動いているが、日常的に昼間は臨時職員の方が、測量してきた後の地目変換や住所移転などのデータの打ち込み作業をしている。

このため、日勤帯での他の職員の使用が難しく、結果、夜間の作業となっている。これを1台購入し、2台にすることにより事務効率を図ることとした。

■町道維持管理工事請負費 1100万円

大井川残土処理場の水路等の敷設替えなどの修繕工事費

Q 山崎 正男議員

この工事の内容は。

A 森田 まちづくり課長
昨年8月の台風により、大井川の残土処理場が崩落した。ここは、今後、町道大井川馬荷線改良工事の残土処理場の予定もあり、今後、再度の大雨等による崩落を防ぐためにも、早急に復旧工事を行った。工事内容は、残土処理場の改修とのり面等の復旧。



新庁舎建設にむけて立木伐採工事中です。奥側左には井の岬が



崩落した残土処理場(大井川)